

2018年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	阿野 幸一
基礎ゼミのテーマ	英語を「学ぶこと」と「教えること」について考える —日本人が英語を身につけるための効果的な方法について、文献や授業の映像から考察し、理解を深める—
サブテキストなど	適宜、英語学習についての資料を配布し、小中高で行われている優れた授業の映像を見ます。
お勧め対象	英語の学び方や教え方に興味を持っている学生。ゼミは英語と日本語を使い分けて行います。

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	(異文化+国際理解の道具としての英語) X 私の未来 英語力向上は、言語の知識(単語力や文法 + WTC(=Willingness to Communicate/話したい意志) + 使用頻度(機会や環境)が鍵になります。このゼミでは、WTCを高め、英語の発信力を磨く仕掛けを用意しています。異文化や国際理解に関する諸問題を題材に学習スキルを身につけつつ、英語でSDGs(持続可能な開発目標)について意見交換しませんか。ミニ模擬国連会議を実施し、皆さん自身が世界につながり、ご自分の未来を描くことが目標です。
サブテキストなど	必要な教材を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連本部研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. グローバル教育の視点から英語教育を実践したい教師の卵。 3. 長期留学のために、英語力アップを願っている学生。 そして、何よりも英語が好きな学生のみなさん!!!

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	新聞を読む 社会を知る —新聞記事を持ち寄ってグループディスカッション・グループ発表・ディベートを行うことにより、社会を見る目を養う—
サブテキストなど	日刊新聞各紙(スポーツ紙は除く) インターネット版のプリントアウトでもよいが、検索機能によって記事を選んではいけません。
お勧め対象	世界と日本で起こっていることを幅広く知りたい学生。新聞を毎日読まなければならないと思っているが一人ではなかなか続かない学生。社会の動きについて、クラスで論じ合いたいと思っている学生。

担当者名	北野 マグダ
基礎ゼミのテーマ	Writing and research skills will be introduced through exploring the topic of how people can learn to speak a second language fluently. Students will try out different methods themselves, and report their findings formally.
サブテキストなど	Students will read both English and Japanese materials, to be assigned in class.
お勧め対象	Lessons will concentrate on English skills, so those already confident in their Japanese writing and researching skills are recommended.

担当者名	齊藤 功高
基礎ゼミのテーマ	世界の中の日本、日本の中の世界 —世界の現状と日本の立ち位置を学び、日本の中の国際化を調査し、それらに関するディベートを通して、今後の日本と自分の方向性を検討する—
サブテキストなど	新聞、雑誌、資料、ネットなどのデータを通して学習します。その他授業で使うテキストが出てくれば、その都度指示します。
お勧め対象	国際協力分野の学生でグローバルイゼーションの中の日本の針路に関心のある学生

2018年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	千葉 克裕
基礎ゼミのテーマ	外国語習得研究について基礎知識を得る。 新書や論文を講読しながら言語習得についての基礎知識を得ると共に、文献の調べ方、レポートの書き方や発表の仕方を学びます。
サブテキストなど	「外国語学習の科学－第二言語習得論とは何か」白井恭弘著 岩波新書 700円（税別）
お勧め対象	外国語はどんな順序で身についていくのか？どうやったら効果的に学んだり、教えたりできるのか？その仕組みに興味のある学生にお勧めです。

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	ニッポンの視覚文化の伝統と現在 －日本の文化を視覚的な観点から捉え直し、自らの表現力を高める－
サブテキストなど	教場で指示します。
お勧め対象	1) 日本の文化や歴史に関心を持つ学生、2) 絵画、浮世絵、マンガ、アニメ、映画などの、アートやポピュラーカルチャーに関心のある学生、3) 日本の「いま」を、英語で発信したい学生、ほか。 *土曜日を利用した学外授業を1回行う予定です（これまでの行き先：歌舞伎座、ジブリ美術館など）

担当者名	山崎 裕子
基礎ゼミのテーマ	日常生活における素朴な疑問を「哲学」という視点で考えてみよう
サブテキストなど	プリントを配布します。 「ものを考えるとはどのようなことか」「哲学と科学」「哲学と宗教」などを取り上げる予定です。ゼミ生が順番で発表、一週間のニュースも交代で発表します。
お勧め対象	本を読むことと考えることが好きな学生。世界に目を向けて、物事の表面ではなく本質を知り、本物を見抜く力をつけたいと思っている学生。

担当者名	渡邊 暁子
基礎ゼミのテーマ	社会のダイバーシティ（多元価値社会）を推進するために －国籍や民族、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にとっても住みやすい社会にするにはどうしたらよいか、国家という大きな枠組みだけではなく、法や社会組織、人と人のつながりのあり方について、文献調査やフィールドワーク、グループ発表、ディスカッションを通して理解します－
サブテキストなど	小泉康一、川村千鶴子（編著）『多文化「共創」社会入門』（慶應義塾大学出版会、2016年）、など
お勧め対象	「歩く・みる・きく」が好きで、異文化理解、文化交流、国際協力等に関心を持つ学生。 ※9月29日（土）には、グローバルフェスタ（@お台場）でフィールドワークを実施する予定です。